

島づくりの将来像

夢つむぐ島 未来につなぐ久米島らしさ

久米島町はこれまで、「夢つむぐ島 一島人みんなで織り上げる未来」を将来像に掲げ、島人ひとりひとりが強い意志と絆でつながり合い、久米島紬の縦糸と横糸のように夢と営みを「つむぐ」姿を理想とした島づくりを行ってきました。

第3次久米島町総合計画では、この理念を引き継ぎつつ、「久米島らしい未来」にさらに焦点を当て、島の独自性を活かした持続可能なまちづくりへとステップアップします。

ここでいう「久米島らしさ」とは、豊かな自然の中で生まれ、歴史や暮らしに刻まれてきた独自の文化や価値観のことです。単なる過去の名残ではなく、住民ひとりひとりの誇りとなり、コミュニティの結びつきを支える力でもあります。この独自性は地域ブランドの源でもあり、観光や産業、交流を通して島の魅力を際立たせます。さらに、先人から受け継がれた知恵や文化を次世代へ伝えることで、歴史と未来をつなぎ、島全体の活力を生み出します。

「久米島らしさ」は島の宝であり、守り育てていくべき価値です。それは、島の誇りや住民の結束の源であり、地域の魅力や活力を支え、未来へつなぐ力そのものだからです。その重要性を改めて認識し、島人みんなが共通の理解を持つことが、これからの島づくりの土台となります。だからこそ、この総合計画でその想いを形にし、日々の暮らしやまちづくりに活かしていきます。

きめ細かく織り上げられる久米島紬のように、私たちは島の価値を丁寧に紡ぎ、未来へとつなげていきます。

島づくりの基本目標

将来像を実現するためには、「生活・暮らし」「生業・産業」「自然・環境」の3つの要素を伸ばし、不安なことは解決・改善していく『島づくり』が不可欠です。

これらの3要素は、まちづくりの根幹を成す重要な要素です。

「生活・暮らし」は住民の安心や安全を確保し、「生業・産業」は地域経済の持続と資源の循環を支え、「自然・環境」は生活や産業の基盤となる資源や景観を保全する等、いずれもまちの持続的な発展に不可欠な役割を果たしています。

新しい総合計画では、この3要素に加え、それらをつなぎ、組み重ね、お互いを高め合う「統合・調和」の視点を加えた4つの基本目標を軸として、『久米島らしいオンリーワンな島づくり』を進めていきます。

生活・暮らし
の基本目標

みんなが幸せに暮らせる島づくり

子育て・教育機能、医療・福祉機能、生活・交通インフラ等、生活基盤・環境のさらなる充実を図るとともに、久米島らしい文化・行事・コミュニティ等を未来に受け継ぎます。これにより、島で暮らすすべての住民が、自然環境や地域社会との調和を大切にしながら、自分らしく充実した暮らしを実現するための、居心地の良い島づくりを目指します。

方針

- ・住民サービスの充実や、住民サービス業に従事する人材の確保・育成等
- ・病院等医療・福祉施設等の機能維持を図るため、更新や大規模修繕を検討
- ・久米島らしい文化・コミュニティ等の保全・継承
- ・住宅及び住環境の整備や、生活インフラの充実等による、移住・定住の促進
- ・久米島ならではの島しょ型交通体系の整備・運用の検討

生業・産業
の基本目標

力を合わせて活気を生み出す島づくり

産業ごとの発展や生産性向上を目指すとともに、各産業の季節的な繁閑に応じたマルチワークや、各産業の協業による商品開発・島内消費拡大等、産業間の連携をこれまで以上に強化し、業界・分野を横断した産業全体の振興を図ります。これにより、地域ブランディングの効率化、地域資源の高付加価値化等、町内産業全体での相乗効果の創出を目指します。

方針

- ・各産業が連携する横断的な産業振興・雇用拡大・担い手確保
- ・産物の価値向上や地産地消の促進等、一次産業の活性化
- ・商店街の活性化等による、人が集まる仕組みやエリアの構築検討
- ・地域資源を最大限活用した観光振興による、各産業の島内消費量増加
- ・生産環境の改善に向けた産業基盤の更新・リニューアル、スマート化検討

自然・環境
の基本目標

美しい景観・自然と共生する島づくり

島で暮らす多くの住民に愛されている、久米島らしい自然・景観や文化財等を保全し、未来に残していくとともに、観光資源や地域ブランディング、地域教育等の魅力的な資源として、積極的な活用を図ります。また、再生可能エネルギーの利用等、環境負荷の少ない持続可能な島づくりを目指します。

方針

- ・久米島らしい自然・景観・文化財等を保全・継承するとともに、地域資源として活用
- ・循環型社会の構築により、環境負荷の低減を図る
- ・カーボンニュートラルの実現に向けたエネルギー自給率の向上

統合・調和
の基本目標

時代の変化を捉え、個性が輝く島づくり

官民学連携や役場内の連携など、3つの要素が連動するための体制を強化するとともに、島内の適切な土地利用誘導や、久米島の地域特性に合ったデジタルインフラ整備・デジタル技術導入等を図ります。

方針

- ・「産業の活性化」及び「雇用機会創出」を考慮した人口フレームの検討
- ・デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、デジタル技術の導入・活用の推進
- ・土地利用・インフラ・交通・施設管理等の方向性を示す空間構想づくり
- ・「生活（社会）」、「生業・産業（経済）」、「自然（環境）」が連動し、課題解決に向かうための体制（庁内連携、官民学連携）強化

将来フレーム

稼働力のある島へ ー産業フレームー

- 離島では雇用の確保が人口の維持・増加に直結するため、産業振興を重要施策として位置づけます。
- 久米島で豊かに暮らしていくために、人口減少に伴う就業者数の減少を受け入れつつも、島の産業の活性化、一人当たりの総生産額の増加を狙い、適切な産業振興策を講じます。

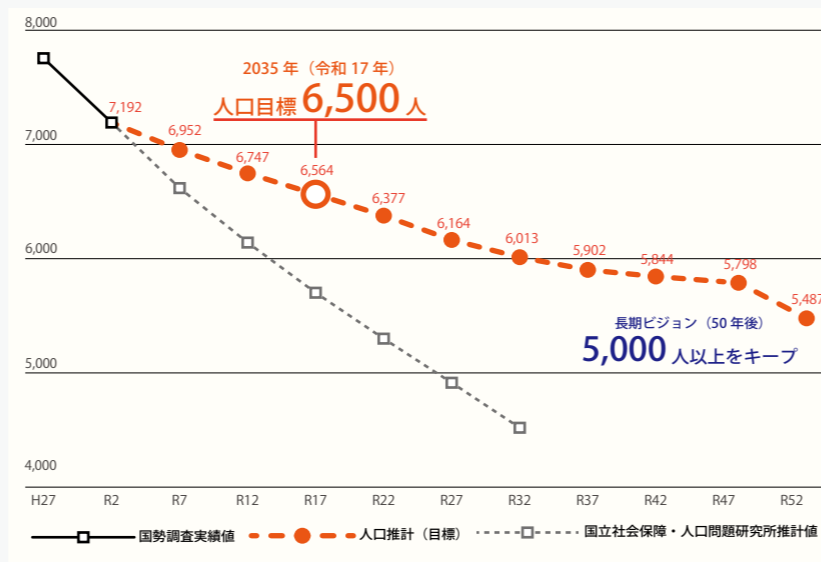
| 農業 | 水産業 | 製造業 | 飲食・宿泊業 (観光関連業) |
|--|---|---|--|
| 就業者数 現状 (R2) 634人 | 就業者数 現状 (R2) 200人 | 就業者数 現状 (R2) 255人 | 就業者数 現状 (R2) 283人 |
| 目標 (R17) 500人 | 目標 (R17) 210人 | 目標 (R17) 240人 | 目標 (R17) 350人 |
| 総生産額 現状 (R2) 10億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 270万円 | 総生産額 現状 (R2) 5億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 250万円 | 総生産額 現状 (R2) 11億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 440万円 | 総生産額 現状 (R2) 6億円※ 1人当たり総生産額 現状 (R2) 200万円 |
| 目標 (R17) 14億円 1人当たり総生産額 280万円 | 目標 (R17) 8億円 1人当たり総生産額 380万円 | 目標 (R17) 30億円 1人当たり総生産額 1250万円 | 目標 (R17) 13億円 1人当たり総生産額 370万円 |

久米島町全体

| 就業者数 | 総生産額 | 1人当たり総生産額 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| (現状) 3,445人 | (現状) 201億円 | (現状) 600万円 |
| 目標 3,160人 | 目標 244億円 | 目標 760万円 |

久米島らしく暮らせる社会へ ー人口ビジョンー

- 本町では、今後も少子高齢化・人口減少の進行が予想されます。
- 人口減少を受け入れつつも、各産業の維持・活性化を図り、人口減少の抑制につなげていく必要があります。
- 進学や就職で島を離れた子どもたちが、将来「戻りたい」と思える島づくりと、雇用の創出が重要です。
- 若い世代のUターンや移住を促し、島の産業を支える好循環を生み出すことで、久米島らしく暮らし続けられる社会を目指します。



産業フレームから導いた就業者数を踏まえ、2025年(令和17年)の将来人口を6,500人に設定します。長期人口ビジョンについては、総合計画の見直し時に適宜検証し、当面は5,000人を下回らないことを長期的な展望とします。

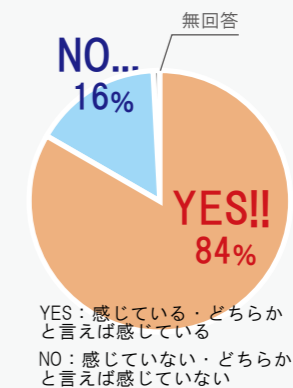
住民の声でつくる計画

住民アンケートを実施し、皆様からいただいたご意見を反映して策定しました。ここでは、住民アンケートの結果の一部を抜粋してご紹介します。

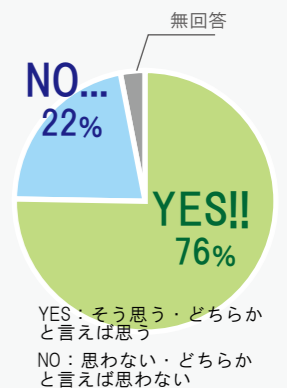
8割以上の方が島に愛着を持ち、これからもずっと住み続けたいと感じています。

8割以上の方が久米島への愛着や誇りを感じていることがわかりました！さらに「今後も住み続けたい」という方も7割を超えています。豊かな自然や温かい人のつながりが、この深い愛着に繋がっているのですね。一方で、若い世代ほど定住への意向が下がるという課題も見えました。皆様のこの愛着を未来へ繋ぎ、誰もがずっと住み続けたいと思える魅力的な島づくりを進めていきます！

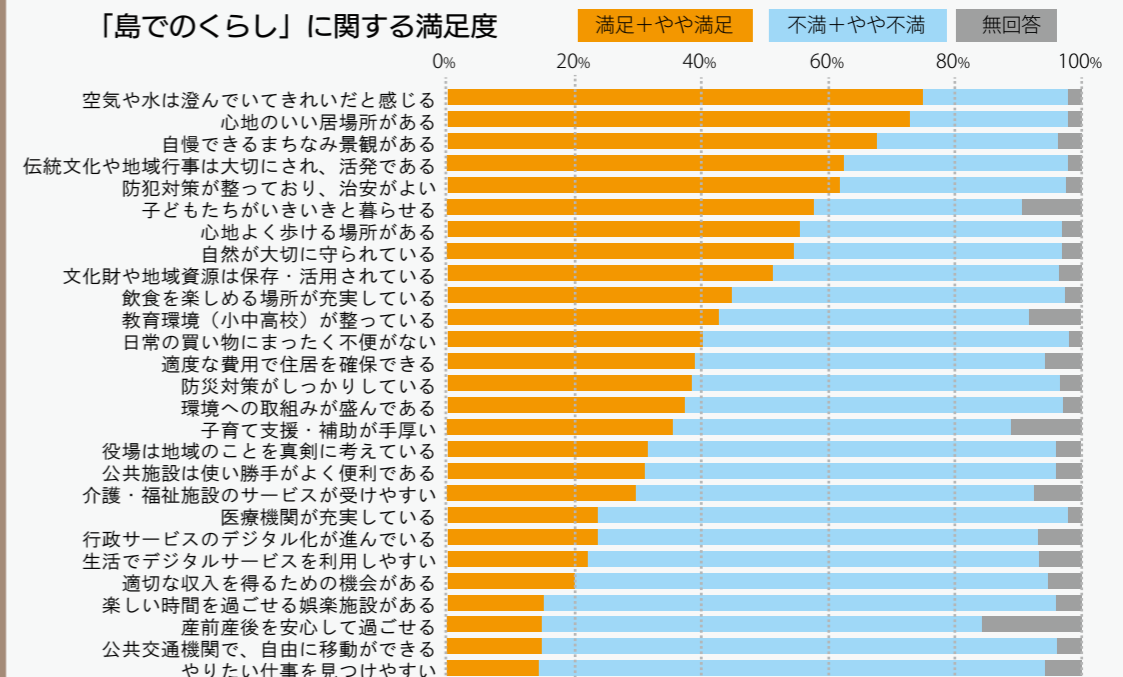
島に愛着・誇りを感じていますか？



久米島に住み続けたいと思いますか？



「島での暮らし」に関する満足度



島づくり構想図

将来の島の姿を描いた「島づくり構想図」です。久米島の土地利用や道路・交通、地域拠点や公共施設の在り方等、優先的なまちづくりの方向性を示した方針図です。

● 集落拠点(字公民館)

- 字公民館を「集落拠点」とし、地域住民のコミュニティや活動拠点として施設更新支援・機能強化・充実

○ 文化活動拠点(学校施設)

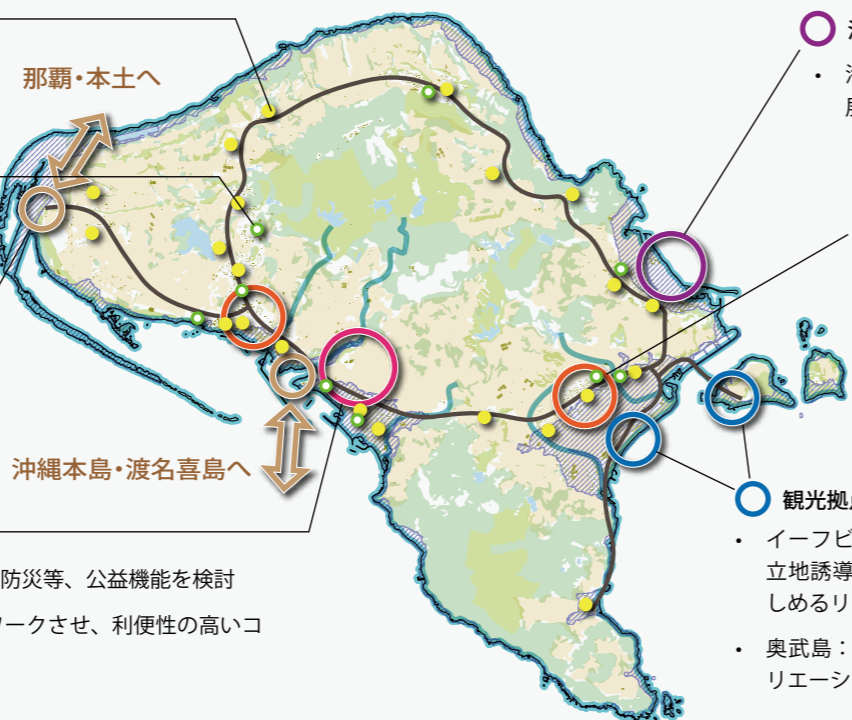
- 学校施設は、教育施設として維持管理しつつ、文化活動拠点として地域行事やレクリエーション、防災訓練等に活用

○ 物流・交流拠点

- 港湾・空港周辺の美化や景観形成を促進
- 観光客を迎える賑わい空間を形成
- 適切な維持管理を促進

○ 中心拠点

- 公共機能を始め、教育、医療・福祉、防災等、公益機能を検討
- 各地域・拠点と公共交通等でネットワークさせ、利便性の高いコンパクトなまちづくりを推進



○ 海洋深層水事業振興拠点

- 海洋深層水事業の振興や他分野への展開など、さらなる利活用を図る

○ 地域拠点

- 買い物・飲食・医療等の生活サービス機能を誘導する
- 近隣集落と公共交通などで結び、生活利便性を高める

○ 観光拠点

- イーブビーチ通り：飲食店・宿泊施設等の立地誘導を図り、島民や観光客が賑わい楽しめるリゾート空間の形成を推進
- 奥武島：環境保全と観光振興の両立、レクリエーション空間としての環境整備を推進

計画期間は 2026年～2035年



【策定】

久米島町役場 企画財政課
電話 098-985-7122 FAX 098-985-7080
〒901-3193 久米島町字比嘉 2870 番地

▼久米島町総合計画



島づくりの基本的な取り組みなど計画書の全文版は下記QRコードからご覧いただけます！

